

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			根拠法令・例規等	下水道法 備前市公共下水道条例
事業開始年度	昭和57年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10	下水道
事務事業名		09	排水設備検査事務	このシート作成に要した時間
				時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	下水道、農業集落排水施設及び漁業集落排水施設並びに個別排水処理施設に接続して汚水を処理しようとする人。
目的 (何のために)	適正な施工方法・維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを防ぎ、施設の維持管理費の増加を防ぐ。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	適正な施工方法や維持管理方法の徹底により、安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを回避し、維持管理費の増加を防ぐ。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
排水設備検査事務	下水道供用開始区域内の市民が、排水設備設置時に指定工事店をとおして行う申請書類の審査から工事完了の確認検査までの事務を行う。	
目的を達成するため実施した事業		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
事業費	直接事業費	千円	0.45人	3,123	0.32人	2,018
	必要人員		3,123	2,018	0.34人	2,187
決算額	国県支	千円				
	出金					
	受益者負担					
	入金					
	その他					
一般財源		3,123	2,018	2,187		
受益者負担比率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	排水設備検査件数	量	246	205	220	
対前年	対前年	%	-	83.3%	107.3%	
活動コスト	活動コスト	円	3,123,000	2,018,000	2,187,000	
単位当たりコスト	単位当たりコスト	円	12,695	9,844	9,941	

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
完工検査改修率	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	3.25	2.44	3.18	到達目標値
	達成率(B/A)	未達成	未達成	未達成	未達成
成果指標設定の考え方・式や説明					
設置基準不適合件数 ÷ 排水設備完工数 × 100					

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	B
	必要性	
効率性の評価	コスト	B
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

留意しながらその数値の評価目標を達成して下され

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	前年度と同様、適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を徹底している。						

総合評価		評価区分 <A-E>
今後も継続して、下水道協会岡山支部と連携し、責任技術者の技術レベルの向上と排水設備設置基準の周知を図る一方で、各接続者にも維持管理方法の周知を図っていく。		B

平成23年度の方向性 及び 取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	引き続き、適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を徹底していく。						